

企業名： アンリツ株式会社

1. この会社が目指す姿が理解できるか

アンリツ株式会社の企業理念は、『「誠と和と意欲」を持って“オリジナル&ハイレベル”な商品とサービスを提供し、安全・安心で豊かなグローバル社会の発展に貢献する』であり、自社の経営ビジョンとしては『「はかる」を超える。限界を超える。共に持続可能な未来へ。』と掲げている。

経営方針は主に4つ立てていて、

- 1 克己心を持ち、「誠実」な取り組みにより人も組織も“日々是進化”を遂げる
- 2 内外に敵を作らず協力関係を育み、「和」の精神で難題を解決する
- 3 進取の気性に富み、ブレークスルーを生み出す「意欲」を持つ
- 4 ステークホルダーと共に人と地球にやさしい未来をつくり続ける「志」を持つ

の4つが中心となっている。この経営方針を踏まえながら、これからの経営ビジョンである『「はかる」を超える。限界を超える。共に持続可能な未来へ。』へより近づくために従来の「はかる」を超えた価値や新領域を開拓していくことで今までのアンリツの限界を超えることを目指している。次第にアンリツは2030年度までに安定した収益を上げる企業として2000億円企業を目指す。

アンリツの事業展開する分野は通信計測への依存が多かったため今までは技術進歩によって変化を迎えるたびに市場の影響を大きく受けてしまっていたが、今後は「安定性」を優先順位高く捉えるために、より重点的に新領域への成長投資やM&Aの投資に重きを置くようにした。具体的な新領域としては「EV、電池測定」「ローカル5G」「光センシング」「医療・医薬品」の4つの分野を成長させていくことを目指しており、イノベーションが起きやすい機動力のある体制になるためにグループ各社を本社に統合することで4つのカンパニーと先端技術研究所の体制にした。

また、少子高齢化による品質への社会的欲求の増加に対する圧倒的な熟練者数の低下という現状を打破するため、「東北アンリツ」「アンリツインフィビス」「アンリツデバイス」そして「アンリツカスタマーサポート」が連携して社会の要求に見合う製品を生み出す「強いものづくりの会社」を目指している。

このほかにも、アンリツ株式会社はサステナビリティ課題への取り組みも自身の目標として掲げている。環境のカテゴリーでは温室効果ガス削減を重要課題と認識しており、「Anritsu Climate Change Action PGRE 30」を策定して2018年度ではわずか1%だった再生エネルギー自家発電比率を2030年ごろまでに30%まで引き上げて社会的課題解決にも貢献するような会社になると主張している。同時に女性幹部職の向上や高齢者向けの新たな制度確立などの社会問題にも解決に向けて取り組むほか、社外取締役比率を50%

以上にすることで経営監督機能の向上も図り、結果としてサステナビリティや SDGs への貢献と努力も惜しまずクリーンで誠実な会社を目指していることがわかる。

アンリツの会社としての信念や理念に加え、会社の強みだけでなく弱みを丁寧に説明した上でどのような成長戦略で今後目指す姿へ辿り着こうと考えているのか、また会社の目指す姿だけではなく社会が自分たちに何を求めているのかまで詳細に書かれているので、アンリツ株式会社の目指す姿は理解できると感じた。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

GLP2023 の三年間は 5 G 計測市場のピークに向けた成長の三年間であり、今後はこれをさらに発展させて 5 G 利活用分野への広がりやネットワークの高速化の需要拡大への対処法をタイムリーに提供することで競争力優位を確立して、5 G/lot 社会を支えるリーディングカンパニーになるとアンリツは主張。これを踏まえ、人々の要求に柔軟に対応してより 5 G の応用と発展に取り組むことがこの会社の競争優位性であると考えられる。

また、上記のように人々の要求に応えるだけでなく、環境の要求（地球温暖化にまつわる社会問題や環境問題、サステナビリティや SDGs の課題）にも対応することで本社の「誠と和と意欲」という企業理念に見合う会社となるべく、企業価値を向上させようとしていることも理解できる。よって、アンリツ株式会社の競争優位性は理解できると言える。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

アンリツは事業を通じて解決することのできる社会問題に誠実に向き合っており、持続可能な社会建設につながる産業の創造とイノベーションの促進に貢献しており、アンリツの技術力を持って「自動車」「医療」「建設」「農業」「エンタメ」「食品」など様々な提供できる社会価値が備わっている。

アンリツ株式会社の過去 5 年の自己資本投機利益率 (ROE) を見ると 2016 年から常に上昇傾向を見せており、2020 年には 15.8% という高い数値を出している。2021 年には 5 G 及びデータセンター需要を捉えたことによって A 企業として格付けされたこともあり、業績から見ても今後の活躍に期待できる。

アンリツ株式会社の経営ビジョンである『「はかる」を超える。限界を超える。共に持続可能な未来へ。』には、関係するあらゆる人々や連携しているあらゆる会社と共に持続可能で魅力的な未来を次世代に繋いでいきたいという思いが込められている。過去十年間の 2020VISION では利益ある持続的成長の実現のおかげで強い財務体質を構築してきたことがわかる。よって今後はその強い財務体質を有効に使うことで成長への投資や新たな挑戦、新領域への開拓を広げることでアンリツ株式会社の可能性を今より切り開いていこうという姿勢を見せている。過去の業績やビジョンの現実

的な分析と将来へ向かう挑戦する姿勢は、この会社の競争優位性に持続性があると言えるだろう。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

アンリツは自社の経営ビジョンを実現するためには多様な人材が存在価値を共有し合い、活躍できる環境を整えることが重要であると発表した。働き方改革に対しても、コロナ禍における働き方の改善としてネットワークの整備に力を入れ、従業員がコロナ禍に不安を溜め込まずに休暇を取れるよう特別休暇制度を導入したり、心と体のケアのためのカウンセラー窓口を設置したり、従業員の心体共に健康で働けるように迅速に対応した。

また、社員の生活と仕事が両方充実しているように、それぞれのライフスタイルにあった働き方で生産性を向上させることを目指している。2015年、2018年に続き2020年に「子育てサポート企業」として厚生労働大臣から認定され、「2020年認定くるみんマーク三つ星」を取得した。女性の活躍も推進しており、役員を選任は性別・国籍問わず、知識・経験・能力のバランスを踏まえるとともに、取締役会における多様性確保にも配慮して決定している。実際、2019年には野田華子が理事・CTOに就任し、先端技術研究所のトップとして率いている。人材育成にも力を入れており、教育研修プログラムは「自ら選択し、自ら学ぶ～希望すれば、学びたい時にいつでも受講できる～」や「自らの実力・強みを知る」という基本コンセプトにしており、個人個人が成長できる場を設けていることがわかる。

よって、この会社は自身の人的資本の価値向上を達成できると思う。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

アンリツ株式会社の統合レポートははっきりとしたメッセージが感じられ、自社の目指すことと良さだけでなく、改善点や今後の課題も詳しく紹介しているため、企業の理解も深まりやすく見やすい報告書だと感じた。よって、改善余地が見当たらなかった。